

展示会だより

■ INCHEM TOKYO 2015 プラントショー & 水イノベーション

2015年11月25日～27日 東京ビックサイト国際展示場にて、公益社団法人化学工学会／一般社団法人日本能率協会が主催する INCHEM TOKYO 2015が開催され、当社は、プラントショーにプロセス機器事業部が水イノベーションに水環境事業部が出展を行いました。

水素エネルギー技術展も同時開催され神戸製鋼所が出展を行っています。

今回、両事業部一つのブースで共同出展を行いました。当社ブースに3日間で合計約1 000名弱来訪頂きました。

プロセス機器事業部は、「機能性と洗浄性改善を探究していく SKS 製品」をコンセプトに、高伝熱性ガラス #9000HT、新型組立翼スマートロック、洗浄機能付 CFV 等新製品の他に GL1, 5m³スイングスター反応機や N-CDB, H₂ BOX の実物展示等を行いました。

また、出展セミナーにて「グラスライニング反応機の CIP 洗浄技術」「当社の機能性ガラス～高伝熱性 GL9000HT を中心に～」と題し、2テーマの発表を行い、産官学マッチングフォーラムにおいて「攪拌槽型反応機の攪拌技術（ポリマー重合機を中心に）」の発表も行いました。

当社の技術力を PR し、今後の営業活動に繋げていきます。

水環境事業部は、「省エネ、省廃棄物に向けた設備・薬剤提案から、メンテナンスまでトータルソリューションを提供」をテーマに PABIOMOVER-LS（汚泥削減型流動床式好気処理装置）や PANBIC-EC（高効率嫌気性排水処理装置）といった装置を、テスト機を交え展示を行いました。御来場者の方から「排水の処理に困っているから対策を考えたい」や、「排水処理設備の老朽化更新を検討している」と言った今後の営業活動に繋がる貴重なご意見を多数頂く事ができ、非常に有意義な展示会となりました。

